

令和元年度学校だより



啓 明

スローガン「自分史上最高を目指せ！」

学校教育目標

積極的に真理の追求をする生徒
厳しく正しい生活をする生徒
強い身体と心を鍛える生徒

令和2年1月24日 第10号

始業式でのメッセージ 15歳の生徒像：「自己肯定感をもった社会と向き合える生徒」

苫小牧市立啓明中学校長 大橋 祐之

今日から3学期が始まります。24日間の冬休みでしたが、皆さんはどのように過ごしたでしょうか。事故やけがのないように気をつけて生活することができましたか。

さて、本校では、中学校を卒業する段階までに、君たちが「自己肯定感をもち、社会と向き合える力をつけいくこと」を教育活動の目標としています。

これは、「自分と向き合うこと」、そして「人との出会いを大切にすること」です。言い換えれば、「自分の良さを発見すること」、「人への感謝の気持ちを持つこと」です。

一歩ずつです！

3年生のみなさん、これからが、君たちの力の見せどころです。仲間との出会いに感謝し、自分としっかり向き合い、昨日の自分より一歩でも前進できるよう「自分史上最高」を目指してください。



挨拶の大切さを示してくれる君たちへ ”心を開き、心に近づく”

生徒の皆さんは、廊下ですれ違ふと、いつも「おはようございます」「こんにちは」と気持ちの良い挨拶をしてくれます。中には、立ち止まり姿勢を正して挨拶してくれる人もいます。是非、今後も続けてほしいと思います。

その一言（挨拶）が私自身の元気の源になっています。そして、皆さんは、ちょっとしたことに対しても「ありがとう」の一言を大切にしてくれます。また、「校長先生！」と、声を掛け、話し掛けてくれる人もいます。そのときは本当にうれしく、私自身の元気が倍増します。

君たちには、人の心をつなぐ力が備わっています。

特に、3年生は、体育大会・学校祭等の学校行事、生徒会活動、部活動と、見事に1・2年生をリードし、一つ一つの活動を価値あるものにしてくれました。中体連前や吹奏楽部の定期演奏会前には、1・2年生がこんなことを言っていました。「3年生のために頑張る！」と。

君たちには、人を動かす力が備わっています。

実は、我々（教職員）にとっても、挨拶は重要なものとなっています。毎朝の職員打合せの時、その場に立って、姿勢を正し、「おはようございます」と挨拶することが職員室の一日の始まりとなりました。（皆さんを見習って）

挨拶の重要性を「挨拶に始まり、挨拶に終わる」「挨拶は、おもてなしの心の第一歩」などと言います人もいます。

「人を気持ちよくさせる方法ってたくさんあるけど、挨拶ってその中の一つだよな。」
『北野 武』(ビートたけし) 氏

「勉強もスポーツも大事だが、何より大事なのが挨拶。挨拶さえしていれば何とかなる。」
第19代大阪市長の『橋下 徹』氏

挨拶は誰もが行う当たり前の行為であると同時に、人間関係を築いていく上でとても重要なものとなっています。挨拶の「挨」には「心を開く」という意味があり、「拶」には「心に近づく」という意味があります。君たちが範を示しているとおり、「挨拶」は、「自分の心を開いて相手の心に近づいていく」ということです。挨拶は、お互いが心を開き近づいていくという人間関係をスタートさせる大切な一歩となるわけです。

君たちには、**人の心をつなぐ力が備わっています。人を動かす力が備わっています。**これからも、心ある挨拶を大切にしていってほしいと思います。

上記のお話は、今年度発行の生徒会誌「第38号」に掲載させていただいております。

学校評価 よりよい学校を目指して

(生徒アンケート、保護者アンケートの集計結果から)

2学期末に実施しました生徒・保護者アンケートの集計結果を掲載いたします。数値は「当てはまる」「だいたい当てはまる」の合計です。学習指導要領全面实施に向けた準備や学校における働き方改革の推進との両立を図りながら、次年度の学校運営に反映させていきたいと考えております。

生徒アンケート	2学期	1学期	保護者アンケート	2学期
①朝読書は自分のために有意義なものになっている	86.0%	88.2%	①学校は生徒の様子を懇談や通信などで知らせている	89.9%
②学校生活に必要なルールやマナーを守って生活している	95.6%	96.6%	②学校は保護者・地域住民からの声に耳を傾けている	72.4%
③あいさつや正しい言葉遣いができている	94.6%	93.6%	③学校は生徒の成長や努力を評価して、自己有用感を育てている	76.5%
④委員会や係活動(当番活動)にしっかりと取り組んでいる	95.9%	95.3%	④学校はあいさつなど基本的な生活習慣を身に付けさせる指導をしている	87.9%
⑤学校行事に積極的に取り組んでいる	91.5%	94.9%	⑤学校は生徒の間違った行動などに対して適切に指導している	77.0%
⑥学校は楽しいと思う	84.2%	86.9%	⑥学校は生徒がわかりやすい授業を行っている	69.9%
⑦いじめをしないよう、させないように心掛けている	97.2%	96.6%	⑦学校は学習に関して子どもの能力や努力を適切に評価している	80.4%
⑧学級の仲間と協力して仲良くしている	95.5%	94.3%	⑧学校は授業や行事・部活動などを通して体力向上を図っている	88.7%
⑨先生方は困ったときに相談のってくれる	93.5%	93.6%	⑨授業参観や体育大会・教祭などは、生徒の様子を知るよい機会となっている	93.3%
⑩困ったときに相談のってくれる友だちがいる	92.8%	93.2%	⑩お子さんにとって学校は楽しいところだと思う	85.3%
⑪先生方は自分の良いところを認めてくれる	93.5%	95.0%	⑪お子さんは学校での様子を家庭で話している	75.3%
⑫学校からのお便りや連絡プリントを家の人に渡している	84.2%	85.8%	⑫家庭では家庭学習の様子を把握し、しっかりと行うよう指導している	66.9%
⑬家族とのコミュニケーションを十分とっている	92.5%	91.9%	⑬家庭では基本的な生活習慣(食事、就寝時間、外出時間、服装等身だしなみ等)を守るよう指導をしている	93.7%
⑭交通ルールやマナーを守るなど、安全に十分注意している	95.9%	97.6%	⑭家庭では気軽に親子の話し合い・相談が行われている	90.0%
⑮自分には良いところがあると思う	74.3%	74.4%	⑮家庭では授業参観やPTA活動に積極的に参加している	62.4%
⑯将来に対する夢や希望がある	73.6%	80.5%		

エピソード 今なお忘れぬ学校での思い出 (文筆：教頭)

夏休み中に本校の卒業生と名乗る方から、卒業30周年を記念して定山溪温泉で同窓会を行うこととなり、翌日に苫小牧に移動してきた時に学校に寄らせていただきたいと依頼されました。平日であれば生徒が活動しておりますし、土・日であれば学校はお休みです。セキュリティの問題もあることから、本来ならばお断りをするところですが、しかし、卒業して30年が経過し(教頭より若干若い)、道外からも参加する卒業生もいるとのこと。ここで断ってしまえば、もう二度と啓明中に足を運ぶことはないのではと思います、私が対応することを条件に校長の許可をいただき、特別に受け入れることとしました。

来校当日、集まったのは8名。校舎内を案内しながら現在の学校の様子を説明させていただきました。卒業生の皆さんからは、当時(30年前)の啓明中や学級の様子(教室配置や生徒・先生方にまつわるエピソードなど)をうかがいました。皆さんは当時の思い出を語りながら終始楽しそうな表情を浮かべていました。2時間ほどの滞在でしたが喜んでいただけた様子でした。本校での交流の後には同級生が経営している飲食店で昼食をとるとのことでした。

後日、学校に届いたお礼の手紙には次のような文が書かれていました。



人生の基盤をつくってくれた啓明中学校、かけがえのないものをたくさん与えてもらいました。私たちの誇れる学校です。

学校は教育活動の中で様々な経験や挑戦を通して自分を高める訓練の場です。我々教職員は今の生徒たちにも、今回来校した卒業生の皆さんと同じ思いをもって啓明中を築立ってほしいと願っています。それと同時に、生徒や保護者の皆さんの思いに応えられるような学校づくりを目指していかなければならないと、今回の出会い(ご縁)を通じて気持ちを新たにしました。

2月行事予定

3日(月) 新入生保護者説明会	20日(木) 学年末テスト(1・2年)
5日(水) 学力テスト(全)	職員会議
13日(木) 公立高校推薦入試(面接)	21日(金) 学年末テスト(1・2年)
14日(金) 6組スケート授業	私立高入試(B)
17日(月) 私立高下見	25日(火) 中央・常任委員会
18日(火) 私立高入試(A)、新入生体験入学	26日(水) 授業参観日
	27日(木) こころの授業(1年)

※インフルエンザB型が出現しております。引き続き、感染予防の取組をお願いいたします。

ホームページもご覧ください URL… <http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/gakko/keimei/>